

【事業所・公共駐車場向け】 充電・給電設備のご案内



トヨタホーム充電・給電設備ラインナップ

普通充電		倍速充電・給電	給電のみ	
(壁付式)	(自立式)	課金 対応可	経産省 補助金 対象	
200V コンセント	壁掛型充電器	自立式 充電器	V2Hスタンド 停電時給電能力 約6kW(100V/200V)	可搬型給電器 1500Wコンセント×3口
車両付属のケーブルを 使って充電。 社用車や従業員用駐車場に。	ケーブル一体型(車両付属のケーブル不要) で扱いやすく、どんな用途の 駐車場にも適しています。	おクルマへの倍速充電と 建物への給電が可能。	建物への 給電のみ可能。	工事不要。 持ち運び可能。 (V2H対応車種のみ使用可)

今なら、国の補助金で「V2Hスタンド」がお得に設置できます。

令和4年度 CEV補助事業 [経産省]

補助金交付額

最大 約 **140** 万円

- 補助金交付額はV2Hスタンドの機種により異なります。
- 左記補助金交付額は法人の場合で、別途工事費ごとの条件がございます。
(デンソー製の場合/V2H機器本体43.9万円+工事費上限95万円)

申請期限

令和4年10月31日(月)

V2Hスタンドを設置することで、BCP対策[災害時の事業継続]だけでなく、
防災拠点として地域にも貢献。MIRAIやプリウスPHVを、蓄電池としても活用できます。

災害対策本部の電力確保に

従業員のみなさまの安全確保に

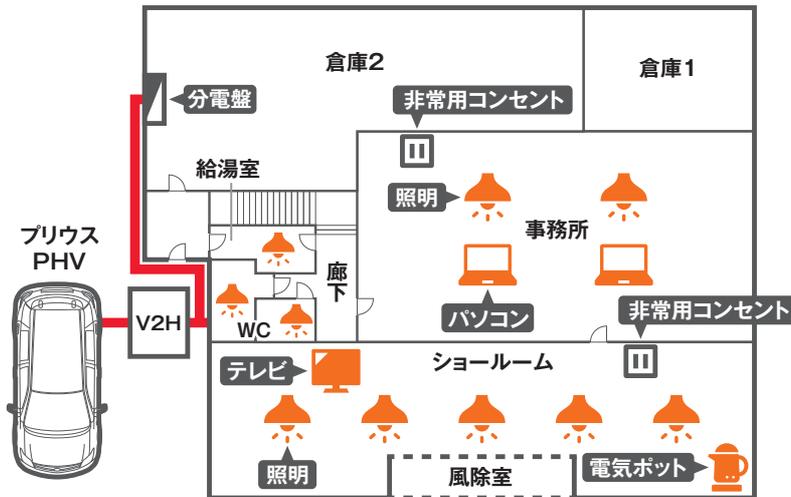
地域の防災拠点に

※V2H対応車種に限ります。[プリウスPHV(2019年5月以降モデルで急速充電インレット装備車)、MIRAI、bZ4X等]

導入事例 ① A社[住宅設備販売店]

PHEV・FCEVを非常時の電源として活用

概要図



	照明×10(70W) 5時間使用	→ 3.5 kWh
	テレビ×1(250W) 8時間使用	→ 2.0 kWh
	パソコン×2(150W) 8時間使用	→ 2.4 kWh
	携帯充電器×20(15W) 1時間使用	→ 0.3 kWh
	電気ポット×1(900W) 1.5時間使用	→ 1.5 kWh
合計		約10 kWh/日

※プリウスPHVなら、ガソリン満タン、バッテリー満充電で、約4日間使用可能です。

(1日あたりの使用電力量を10kWhとして計算。プリウスPHVは「バッテリーチャージモード」使用中は給電できません)

※電気の契約容量が15kVAを超える場合は、給電回路を既存分電盤から分離する必要があります。



V2Hスタンド

充電設備設置にかかるコスト

設置費用(上記設置例の場合)
[本体+工事費] ※1

総工費：約 220万円 (税込)

**今なら、国の補助金で
お得に設置できます。**

補助金交付額 ※2

約 **112万円**

補助金適用後の実質負担額

約 **108万円** (税込) ~

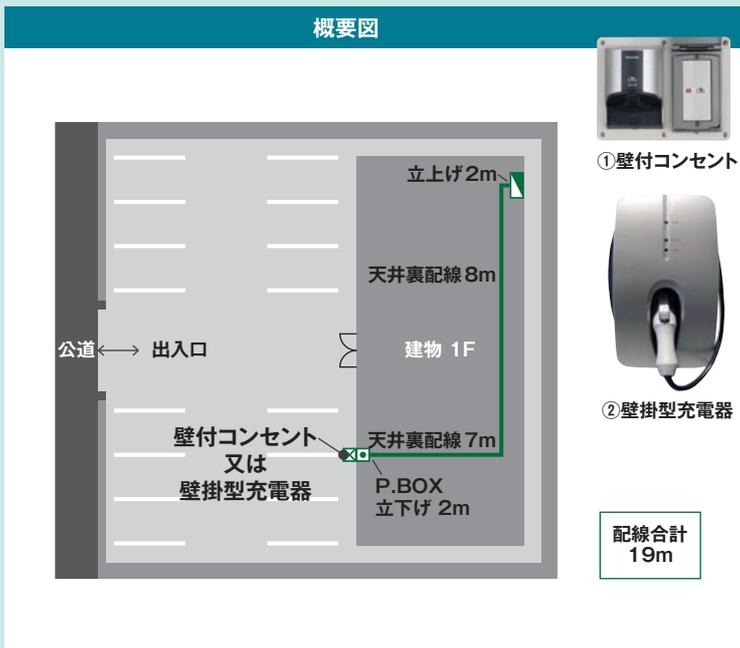
※1 工事費は建物の状況により異なります。別途、補助金申請代行手数料を申し受けます。

※2 補助金額は工事の内容により異なり、また、センターの審査により決定されます。上記金額は昨年度弊社実績からの推定値です。

導入事例 ② B社 [保険代理店]

自社建物壁面と充電スペースが隣接しているケース

● 車載ケーブルを使用する壁付コンセントとケーブル一体型の壁掛型充電器の2種類をご用意しています。



施設担当者の方へ
事前に下記の要件をご確認ください。

電源・必要電力要件

契約電源	単相3線
充電定格	200V16A/台

配置・配線の設計要件

建物の使用形態	自社所有
駐車場の利用形態	自社所有地
充電用途	業務車両、従業員通勤車両、来客車両
充電利用時の費用負担	設置会社負担
特殊作業	無し

充電設備設置にかかるコスト

①壁付コンセント
の場合

総工費：約**16万円** (税込)

②壁掛型充電器
の場合

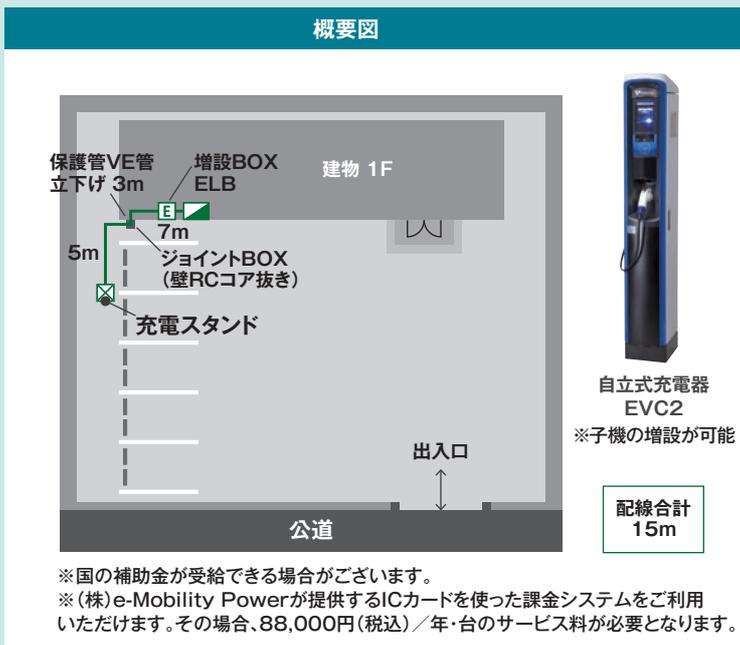
総工費：約**35万円** (税込)

※既設設備の状況次第で、複数台設置も可能ですのでご相談ください。※表示価格は目安で、環境や作業条件により異なります。

導入事例 ③ C社 [小売店]

認証・課金機能が必要なケース

● セキュリティに優れ、認証サービスにも対応した高機能モデル。ディスプレイのガイダンス表示により、誰でも簡単に操作が可能です。



施設担当者の方へ
事前に下記の要件をご確認ください。

電源・必要電力要件

契約電源	単相3線
充電定格	200V16A/台

配置・配線の設計要件

建物の使用形態	自社所有
駐車場の利用形態	自社所有地
充電用途	来客車両、従業員通勤車両
充電利用時の費用負担	設置会社負担(利用者負担も可)
特殊作業	RCコア抜き(1箇所)、基礎打設

充電設備設置にかかるコスト

総工費：約**165万円** (税込)

※既設設備の状況次第で、複数台設置も可能ですのでご相談ください。※表示価格は目安で、環境や作業条件により異なります。

【BCP対策の一環としてV2Hに着目】

当社では以前から災害時などに備えてBCP(事業継続計画)に取り組んでおり、緊急用の発電機や衛星電話の整備、食料の備蓄などを行っていました。こうした取り組みをさらに強化するために導入したのが、停電の際も電動車両(FCEV・PHEV・BEV)に蓄えた電力を事業所に供給できるV2Hスタンドです。

当社では幅広い事業を行っているため、導入にあたってはどの拠点に設置するのが有効か、充放電能力と事業所規模との整合性などを詳細に検討。その結果、本社管理部門や各事業の中核拠点など5か所に導入しました。

【満充電までの時間が短いことも魅力】

設置拠点ではFCEV(燃料電池車)のMIRAIとプリウスPHVの計5台で運用予定。通常時は車両への充電がメインですが、使用した社員からは「満充電までの時間が予想以上に短くて驚いた」という声が上がっていますね。

またV2Hの導入にあたっては、公的な補助金があることも大きな魅力でした。申請には複雑な手続きが必要でしたが、窓口となったトヨタホームリフォームさんからきめ細かなサポートがあったのでスムーズに行うことができました。

【ワンランク上の安心が実現できたことが大きなメリット】

当社がBCPに力を入れているのは、主要取引先がトヨタ自動車様及びグループ各社様で海外事業の支援をはじめサプライチェーンの一翼を担っているからです。また建設事業領域では、災害時などに自動車関連の生産現場をいち早く復旧する役割も担っているため、なおさら自社のBCP対策は重要です。

こうした投資は直接利益を生むものではありませんが、V2Hの導入でワンランク上の安心が実現できたのは大きなメリットだと感じています。今後は定期的な防災訓練でもV2Hの取扱いを実施していく予定です。

【環境対策として太陽光発電の電力を有効に活用】

またV2Hは太陽光発電などの電力を有効利用できるため、環境対策にも効果があります。まもなく着工する新工場にも太陽光発電パネルを設置する計画ですので、発電した電力を工場ですらうだけでなく余剰電力で車両を動かすなど、省エネ・省資源にも活用していきたいです。なお、当社のこうした取り組みを関連企業へも紹介していきたいと思っています。



〈会社概要〉

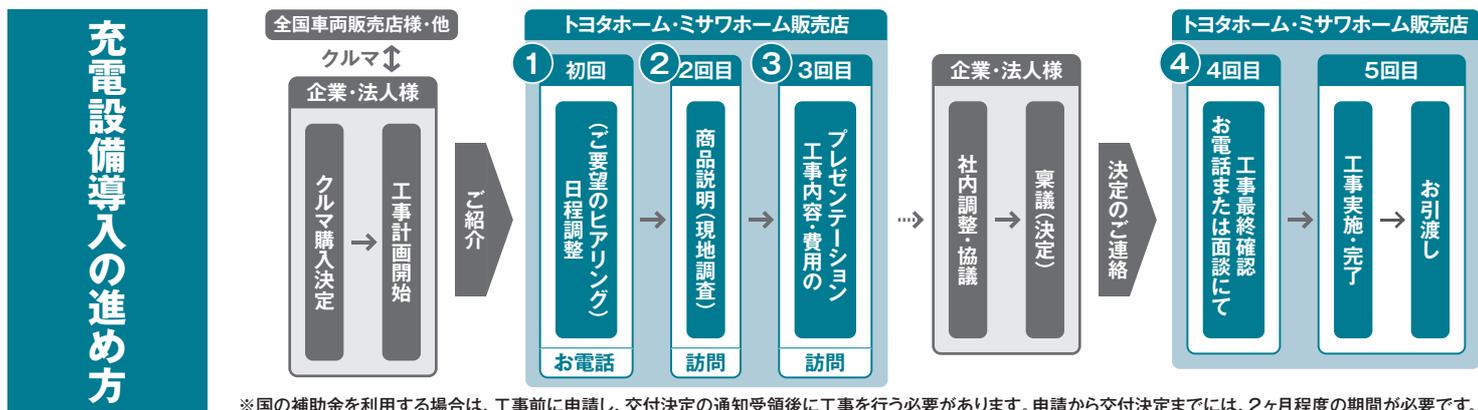
三栄工業は創業から75年の長い歴史を持つ企業。現在は自動車産業の後方支援として、トヨタグループのグローバル展開の一翼を担う。「物流事業」と共に「建設事業」と「住宅事業」で地域の安心・快適な住環境を作っている総合事業体である。



三栄工業株式会社 専務取締役・松田義継様



非常時にはMIRAIから事務所内へ給電



住宅メーカーならではの
品質保証とアフターサービス

保証期間1年 **24時間トラブル受付**

トヨタホーム株式会社 **充電関連サポートデスク**

0800-777-1152

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝・年末年始を除く)トラブルは24時間受付

※このカタログの内容は2022年6月現在のものです。 ※外観および塗装等の色は、撮影、印刷インキの関係で実際の色と異なることもあります。 ※本仕様は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。 ※本カタログ掲載の写真・ロゴ・コピーなどの無断転載および複写を禁じます。